会長挨拶

古賀　誠

全国道路利用者会議　会長

改めまして今日は70回という全国道路利用者会議の定時総会を迎えることができました。70回ということは創立されまして70年を経過しているということであります。創立時のご苦労いただきました先人・先達のご尽力に思いを寄せながら今日の、毎年のことではありますがお忙しい中に、石井国土交通大臣をはじめ、副大臣、そして衆参の国土交通委員会の委員長の皆様をはじめ、日頃から道路行政にご指導とご支援を賜わっております衆参の国会議員の先生にこの定時総会に花を添えていただいておりますことをまず感謝を申し上げたいと存じます。

また、全国各地から総会にご参集いただいております、会員の皆様には平素から当会議の事業の推進にあたりまして多大なるご協力とそしてご支援を賜わっておりますことに、この定時総会にあたり日頃の皆様のご支援・ご協力にあらためてお礼と感謝を申し上げたいと存じます。

今年の当初予算も3月に成立いたしました。ご案内の通り総額97兆7128億、過去最高と言われておりました前年の予算を上回る額が当初予算として計上されたところでございます。そのうち、公共事業に関係する予算額は5兆9178億でございます。前年度比26億、わずか26億でありますから、相変わらず公共事業を取り巻く環境は財政的には極めて厳しいという事は言わざるをえないと思っております。

しかし、今年はおかげさまをもちまして、道路法等の一部を改正する法律が国会議員の先生方のおかげで成立を見ることができました。当会議が強く求めてまいりました道路財特法の補助率の嵩上げが引き続き10年継続がすることができたわけであります。皆様方のご支援・ご協力の賜物であります。あらためてここに厚くお礼を申し上げる次第でございます。

地域経済の活性化、また、多発しております異常気象の中で、災害から命を守るライフラインとして道路の持つ特性を活かしているということを考えますと、今後、道路整備をどう進めていくかということは極めて大事な政治課題だと認識をいたしております。

とりわけ今、各地で地方創生が叫ばれております。しかし地方創生は道路網をどう整備するのかというのが基本であり基礎であろうかと思っております。道路整備は不可欠であります。そういう意味では最も大事な社会資本整備だとの認識をあらたにしなければならないと思います。

今申し上げましたように、非常に厳しい限られた道路整備の財源の中で、今後、会員の皆様方の強いご要請にどう応えていくかということを考えますと、かつて道路整備は先人の知恵であります、受益者負担によります道路特定財源を支えとして、財源の安定的・持続的な確保を果たしてきたわけであります。今、私たちは、ただ単に先人や先達に感謝するだけではなくて、今後も老朽化著しい道路整備を皆さんの期待に応えて果たしていくためにも財源問題の議論というのは、避けて通れない大きな課題だと思っております。

とりわけ道路利用者会議は道路を利用していただく利用者の皆様方の会議でもございます。今日も代表するか皆さん方にご参加いただいておりますが、そういった方々と寄り添いながらこれからも道路整備のネットワークを進めていかねばなりません。直面する大きな課題、またきめ細かな課題に今後とも私どもは会員一同、心を一つにして大臣をはじめ国会議員の先生方のご支援とご指導のもと、進めていくことをあらためて誓い、今日の定時総会のごあいさつといたします。

来賓挨拶

石井啓一

国土交通大臣

さて国土交通省では、持続的な経済成長と豊かな国民生活を実現するための最重要課題といたしまして生産性革命に取り組んでおります。本年は生産性革命を深める深化の年と位置付けましてこれまで実施してきた取り組みをさらに強化してまいります。道路分野では年間約280万人分の労働力に匹敵する経済損失が生じている渋滞の解消が重要な課題であり、これまでのETC2.0データの活用によるピンポイント渋滞対策に加えまして、トラック・バス・タクシー等道路利用者からのご意見を踏まえたきめ細やかな渋滞対策を今年度より全国で展開してまいります。

また、全国の皆様からたくさんご要望をいただいておりました、いわゆる財特法の国費率等の嵩上げ措置につきましては去る3月30日に法案が成立いたしまして、今後10年間継続することとなりました。併せて道路法改正におきまして平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するために、重要物流道路制度を創設いたしました。今後、重要物流道路制度を契機とした地域高規格道路等のネットワークの見直しや重点整備を進めるとともに、国際海上コンテナ車について特車の通行許可を不要とする措置を導入してまいります。また、道路の老朽化対策といたしまして平成26年度から5年に1回の頻度での点検等に取り組みまして今年度で点検が一巡をいたします。今後は、定期点検結果を踏まえまして戦略的・効果的な修繕等によるメンテナンスのセカンドステージを着実に実施してまいります。

こうした取り組みを着実に進めていくためには必要な道路予算を安定的・持続的に確保しなければなりません。国土交通省といたしましては、本日お集まりの皆様の幅広いご意見を賜りつつ必要な道路の整備を着実に推進し、活力ある国づくりに取り組んでまいりますので、なお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

昨年も九州北部豪雨をはじめ、相次ぐ台風による豪雨災害等の多くの自然災害が発生いたしました。国土交通省といたしましては、東日本大震災や熊本地震も含めまして被災地の復旧・復興に全力で取り組んでまいります。加えまして大雪時の冬期道路交通確保につきましても本年2月に設置をいたしました、有識者の検討委員会から頂きました「集中的な大雪時の予防的な通行規制」等の提言を踏まえましてハード・ソフトの両面から対策をしっかりと推進してまいります。

来賓挨拶

西村明宏

衆議院国土交通委員長

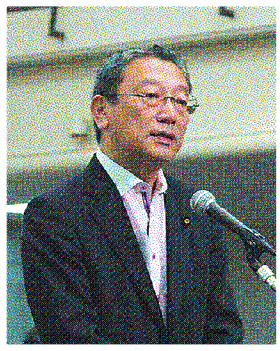
道路は、経済活動や住民生活に欠かすことのできない最も基礎的な社会資本であり、我が国の国際競争力の強化や地域活性化のために重要な役割を果たしています。近年の人口減少、高齢化、自然災害の激甚化、既存社会資本ストックの老朽化、自動運転等急速な技術進展等により道路を取り巻く環境が劇的に変化しており、道路の安全・安心の確保や効率的な利活用に向けて課題が山積しております。特に急速に老朽化が進行している道路の整備が促進され、老朽化対策や災害時においても機能するネットワークの構築に一層寄与するものと期待しております。

現在厳し状況下ではございますけれども我が国及び各地域の発展のために、また国民の命と暮らしを守るために、真に必要な道路を計画的かつ着実に整備していかなければなりません。衆議院国土交通委員会といたしましても皆様のご意見をしっかりと受け止め今後とも道路整備の推進のため最大限の努力を傾注してまいる所存であります。

来賓挨拶

長浜博行

参議院国土交通委員長



先ほどの会長のお話にもありました様にこの会議は利用者の視点からという大変素晴らしいポイントで成り立っているということをよく理解をしているところでございます。そして、まもなく東京外かく環状道路の千葉県の選出でございますけれども、新幹線はございませんが、ディズニーランドや成田空港がありまして、6月2日に開通し、開通式にも参加をさせていただきます。道路は繋がってこそ意味があるというところだというふうにも思います。

それから圏央道というのもあります。大変混雑をしている東京を通らずに、一都三県の、周りの三県のみならず東北地方等へ抜けられるという道は大変大事だというふうにも思ってもおります。と同時に、これも会長がおっしゃられておりましたけれども、やはり道路は老朽化をしてまいります。この社会資本がきちっと整備出来る様に今日お集まりの多くの先生方と協力をしながらしっかりとした財源確保にも取り組んでまいりたいと思っております。

来賓紹介

【衆議院国土交通委員会】
西村明宏委員長
【参議院国土交通委員会】
長浜博行委員長
【国土交通省】
石井啓一国土交通大臣、牧野たかお国土交通副大臣、梁和生国土交通大臣政務官、石川雄一道路局長、和田信貴道路局次長、東潔官房審議官（道路）、山本博之総務課長、楠田幹人路政課長、土井弘次道路交通管理課長、吉岡幹夫企画課長、村山一弥国道・技術課長、森山誠二環境安全・防災課長、伊勢田敏高速道路課長、大野昌仁参事官
【高速道路会社等】
加藤恒太郎（独）日本高速道路保有・債務返済機構理事、横山正則東日本高速道路（株）取締役兼常務執行役員建設・技術本部長、広瀬輝中日本高速道路（株）取締役技術・建設本部建設企画部、前川秀和西日本高速道路（株）取締役常務執行役員、大庭孝之首都高速道路（株）計画・環境部長、岡本博阪神高速道路（株）取締役常務執行役員、金崎智樹本州四国連絡高速道路（株）取締役
【友誼団体】
谷口博昭（公社）日本道路協会会長
【国会議員・本人】
《衆議院議員》
伊藤信太郎、伊東良孝、今枝宗一郎、今村雅弘、衛藤征士郎、遠藤利明、大口善徳、逢坂誠二、大西宏幸、小田原潔、尾身朝子、金子恭之、神田憲次、北村誠吾、古賀篤、小島敏文、斉木武志、坂本哲志、左藤章、佐藤英道、柴山昌彦、鈴木貴子、高市早苗、高木毅、武井俊輔、田中英之、田野瀬太道、寺田稔、渡海紀三朗、中谷真一、中村裕之、西田昭二、野中厚、藤丸敏、松原仁、松本剛明、武藤容治、望月義夫、山口泰明、山本有二
《参議院議員》
赤池誠章、足立敏之、石井正弘、猪口邦子、江島潔、大野泰正、岡田広、北村経夫、上月良祐、古賀友一郎、酒井庸行、佐藤信秋、島村大、滝沢求、堂故茂、豊田俊郎、中西哲、長峯誠、二之湯智、馬場成志、藤川政人、松下新平、三木亨、三宅伸吾、山下雄平
【国会議員・代理】
《衆議院議員》
赤澤亮正、浅野哲、麻生太郎、阿部俊子、池田道孝、池田佳隆、石崎徹、石田祝稔、石田真敏、石破茂、泉田裕彦、伊藤俊輔、伊藤忠彦、伊藤達也、伊藤渉、井上信治、井上貴博、井林辰憲、岩田和親、岩屋毅、上野宏史、江渡聡徳、江藤拓、大隈和英、太田昌孝、大塚拓、岡本充功、奥野信亮、小倉將信、小此木八郎、小渕優子、梶山弘志、加藤鮎子、加藤勝信、加藤寛治、金子恵美、上川陽子、神谷昇、神谷裕、神山佐市、亀岡偉民、鴨下一郎、河井克行、神田裕、黄川田仁志、岸信夫、岸田文雄、工藤彰三、国光文乃、小林茂樹、小林史明、佐藤公治、塩谷立、重徳和彦、階猛、新谷正義、鈴木馨祐、鈴木俊一、関健一郎、薗浦健太郎、平将明、高木啓、高木美智代、高橋ひなこ、武内則男、竹下亘、武田良太、田所嘉徳、棚橋泰文、谷川とむ、玉木雄一郎、津島淳、土屋品子、冨樫博之、冨岡勉、長尾敬、中曽根康隆、中根一幸、中野洋昌、中山泰秀、西岡秀子、西村康稔、丹羽秀樹、額賀福志郎、根本幸典、野田聖子、野田毅、橋本岳、鳩山二郎、原田憲治、原田義昭、福井照、福田達夫、藤原崇、船橋利実、古川康、古田圭一、穂坂泰、星野剛士、細田博之、堀井学、堀内詔子、松田功、松本純、松本洋平、三浦靖、三ツ林裕巳、三ツ矢憲生、御法川信英、三原朝彦、宮川伸、宮路拓馬、宮下一郎、村上誠一郎、茂木敏充、森山浩行、盛山正仁、矢上雅義、八木哲也、山田賢司、山本公一、山本幸三、横光克彦、義家弘介、吉川貴盛、吉野正芳、笠浩史、若宮健嗣、和田義明、鰐淵洋子
《参議院議員》
愛知治郎、青木一彦、朝日健太郎、アントニオ猪木、石井浩郎、石井苗子、磯崎仁彦、伊藤孝江、井原巧、岩井茂樹、衛藤晟一、大家敏志、大島九州男、太田房江、大沼瑞穂、小野田紀美、片山大介、片山虎之助、金子原二郎、河野義博、木村義雄、こやり隆史、佐藤啓、繁本護、島田三郎、榛葉賀津也、関口昌一、高木かおり、高野光二郎、滝波宏文、竹谷とし子、伊達忠一、塚田一郎、中泉松司、中西祐介、西田昌司、二之湯武史、野上浩太郎、長谷川岳、平山佐知子、古川俊治、舞立昇治、増子輝彦、松村祥史、松山政司、三浦信祐、溝手顕正、三原じゅん子、宮沢由佳、宮沢洋一、宮本周司、室井邦彦、山口那津男、山田宏、山田修路、山本一太、山本順三、吉川ゆうみ、吉田博美、渡辺猛之
【祝電】
《衆議院議員》
太田昌孝、小川淳也、尾身朝子、門山宏哲、斉木武志、佐々木隆博、堀内詔子、松本純、森田俊和、山口俊一
《参議院議員》
足立敏之、太田房江、佐藤信秋、森本真治

（敬称略）